

本学への満足度と成長実感について

(令和元年度各種アンケートの実施結果より)

1. 満足度

(令和元年度・学生調査アンケート実施結果より)

(1) 実施目的

大学・短期大学における学習実態を把握し、教育環境及び質の一層の改善に寄与するため

(2) 実施概要と回答状況

実施日：令和元年9月～10月下旬

対象：全在学生（※今回の公表では大学4年生、短期大学2年生のみ）

総回答率：83.5%（総回答者数：1,422人≪内訳：大学1,231人、短大・保健体育学科62人、短大・児童教育学科129人≫）

◎大学4年生：79.9%、短大・保健体育学科2年生70.3%、短大・児童教育学科2年生84.5%

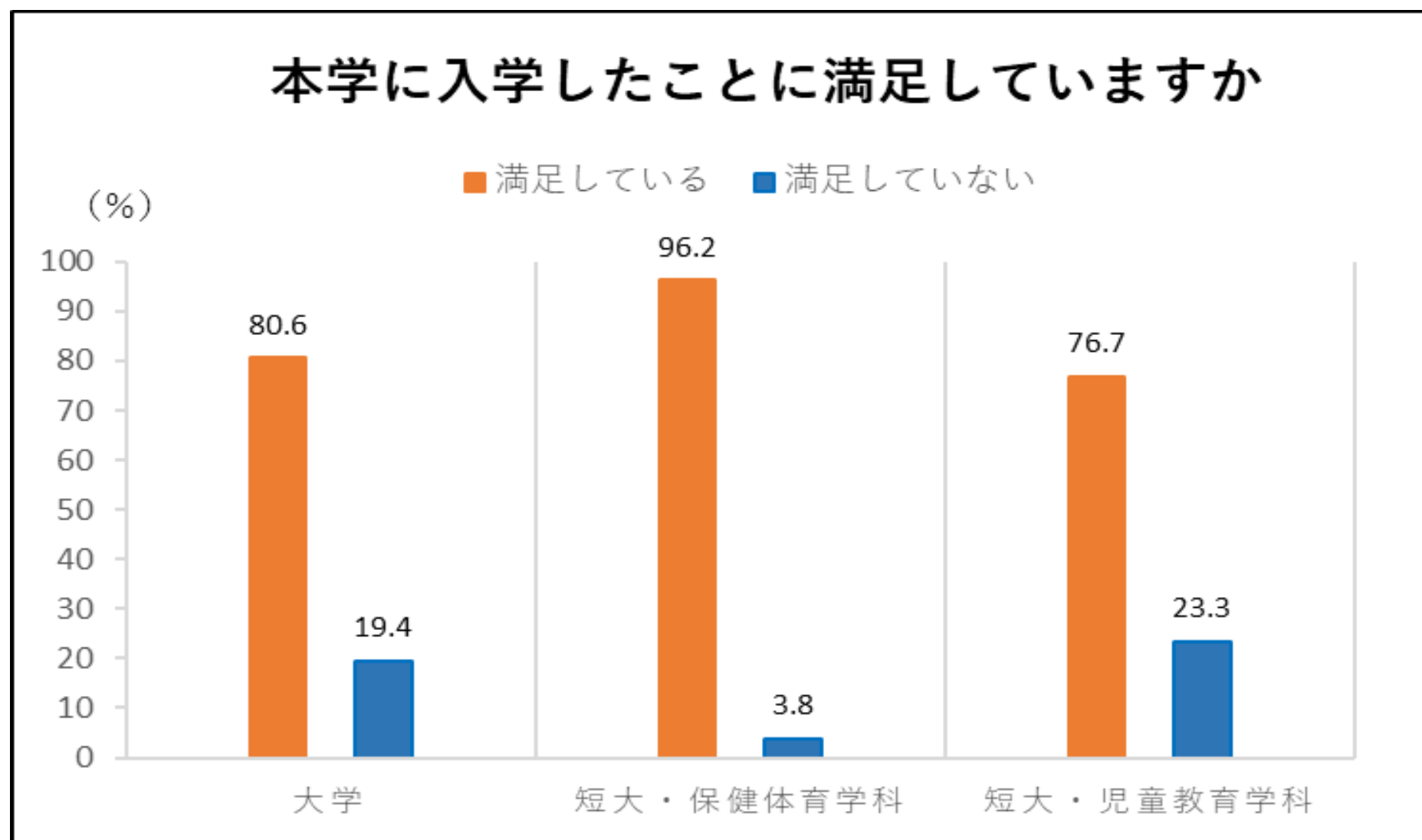
実施方法：質問紙

質問数：53問

【実施概要】

入学理由等、学生生活、課外活動、学修などの項目から学生の学習実態を把握しました。

※以下、満足度を把握するための質問を全質問から抜粋



【実施結果①】

大学、短期大学共にほとんどの学生が本学に入学したことに満足していることがわかります。

2. 成長実感

(令和元年度・学習成果測定アンケート(卒業時アンケート)実施結果より)

※本アンケートは在学生に実施している「学習成果測定アンケート」の卒年次版である

(1) 実施目的

大学・短期大学における学びに関する満足度や成長実感を測り教育の質の向上に寄与するため

(2) 実施概要と回答状況

実施日：令和2年3月20日(金)

対象：大学4年生、短大両学科2年生

総回答率：84.5% (総回答者数：383人、内訳：大学307人、保健体育学科30人、児童教育学科46人)

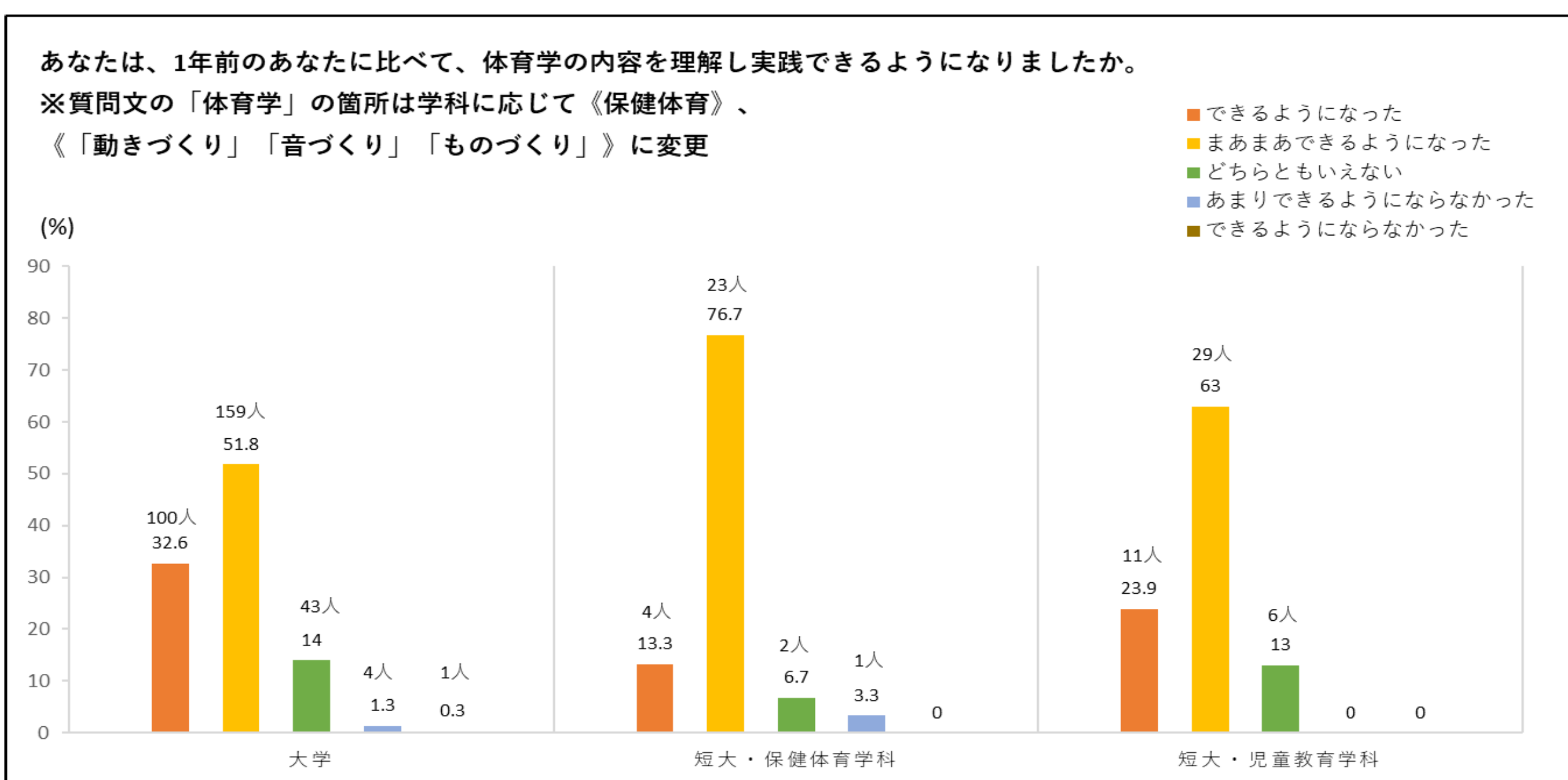
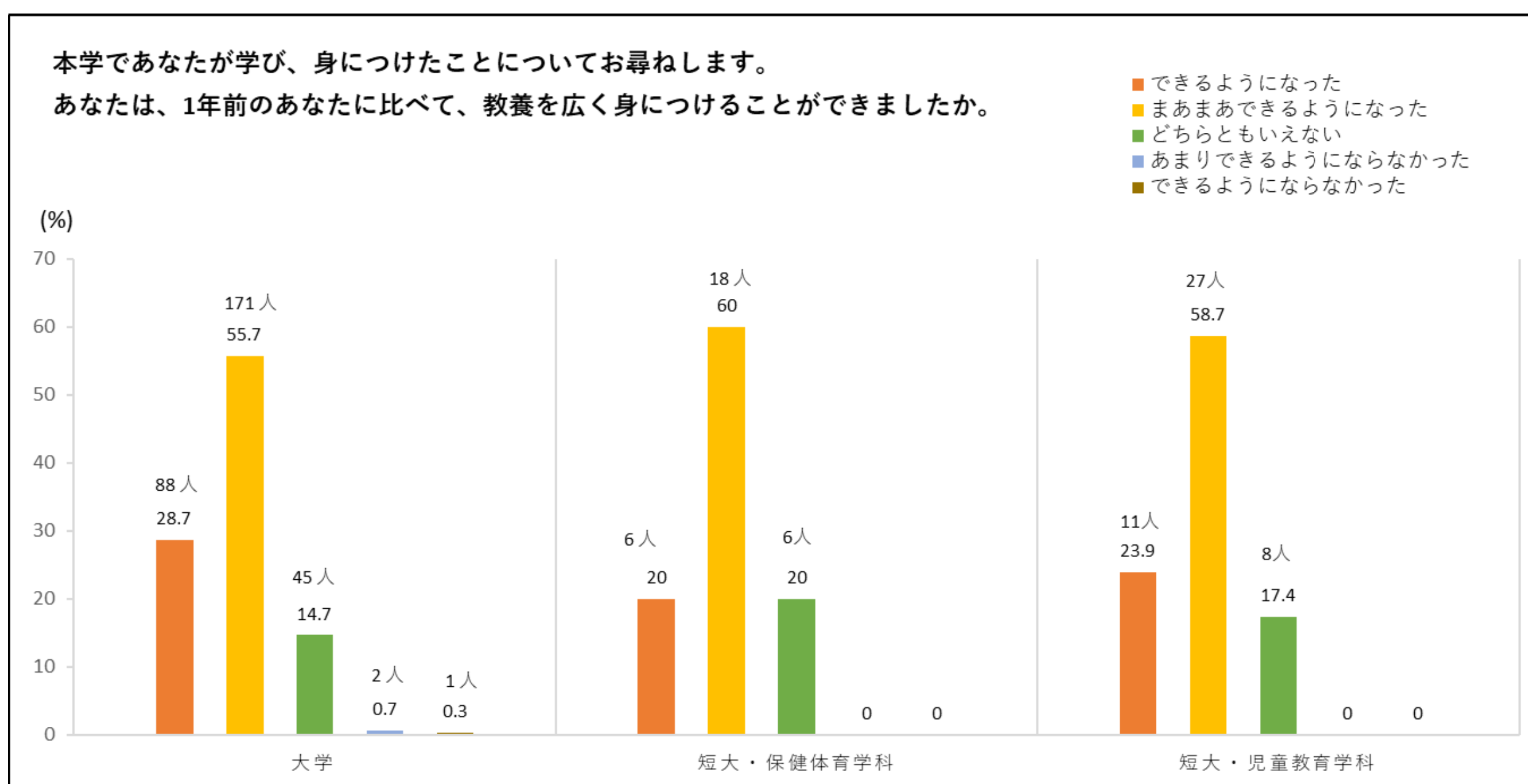
実施方法：Web方式

質問数：25問

【実施概要】

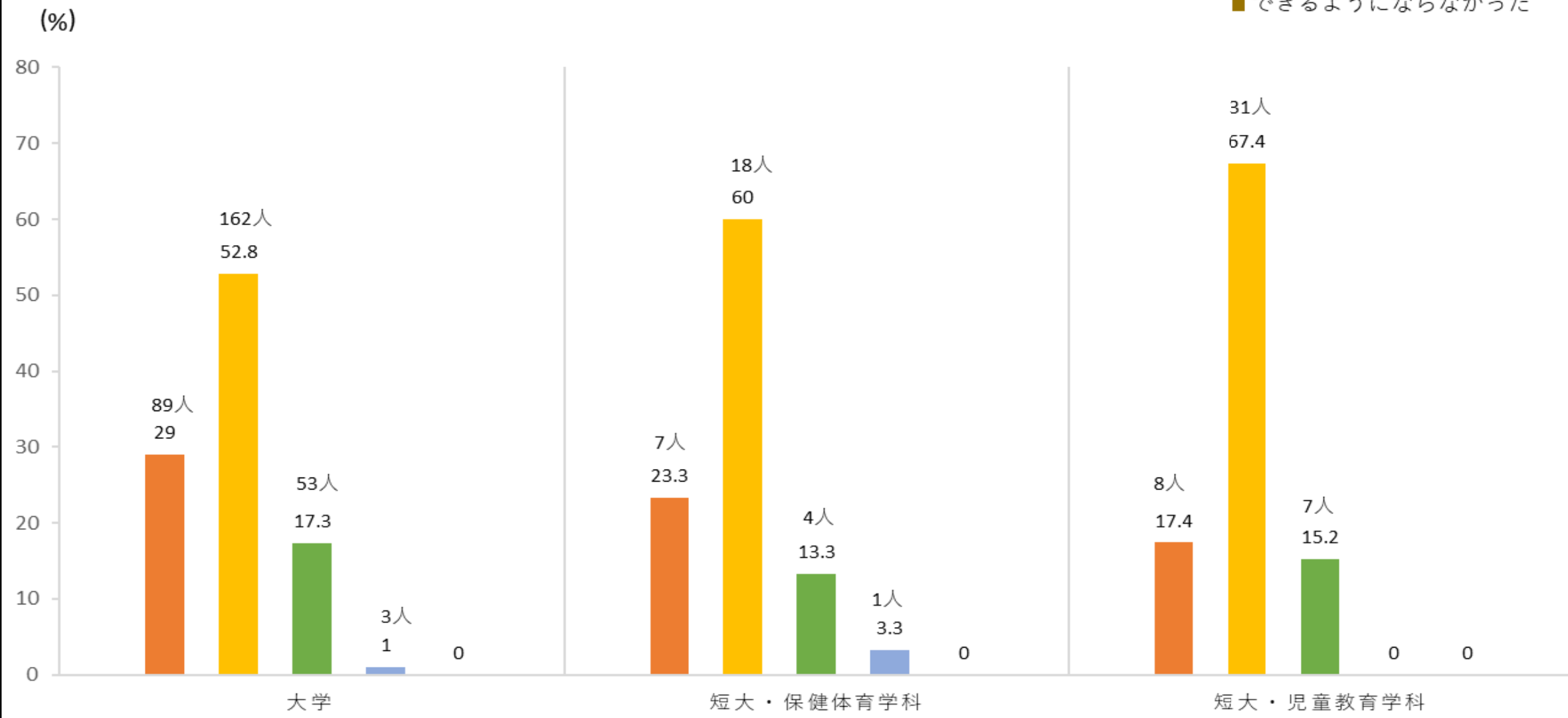
総合的な満足度を問う質問や、大学・短期大学の学びをカリキュラムや授業内容など5項目に分けた質問、また1年前の自分に比べ、教養、専門的な能力などが身に付いたかどうかを問う質問を作成しました。

※以下、成長実感を把握するための質問を全質問から抜粋



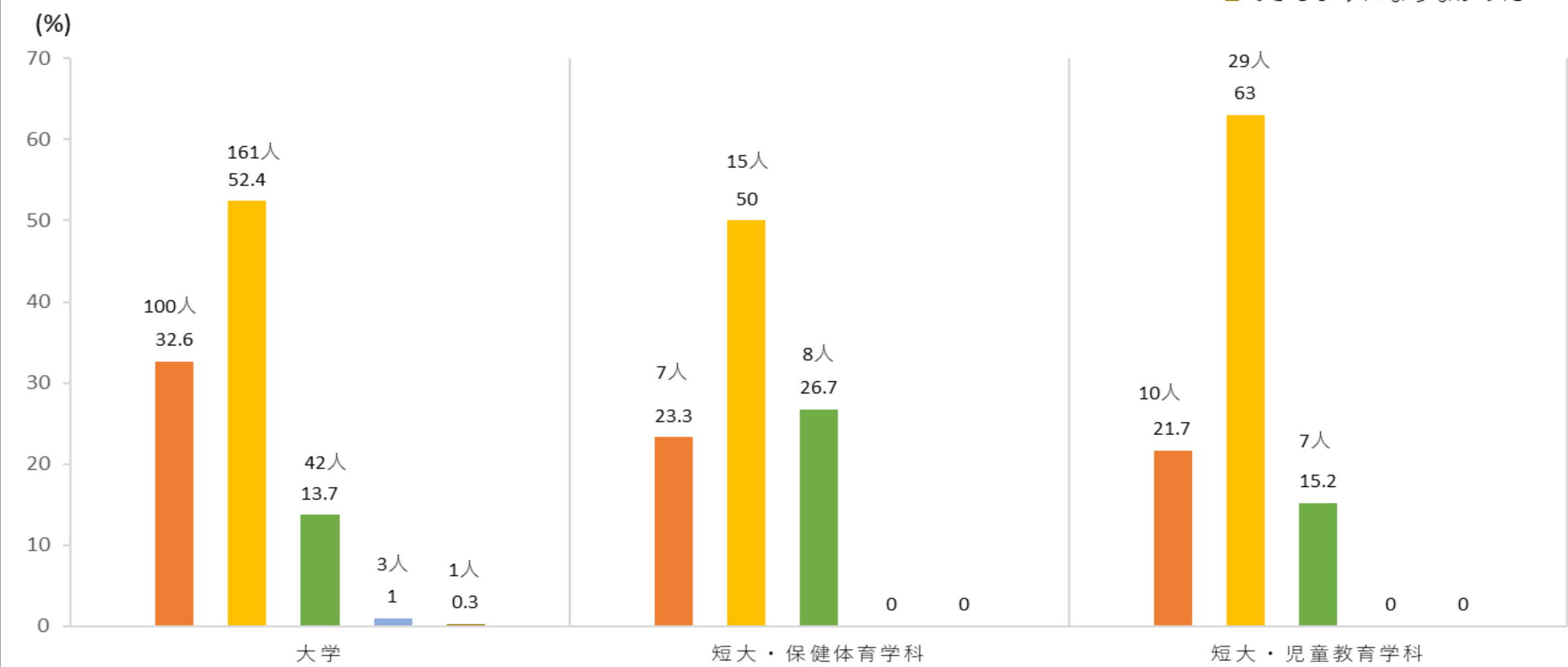
あなたは、1年前のあなたに比べて、自ら課題を設定し、分析や考察ができるようになりましたか。

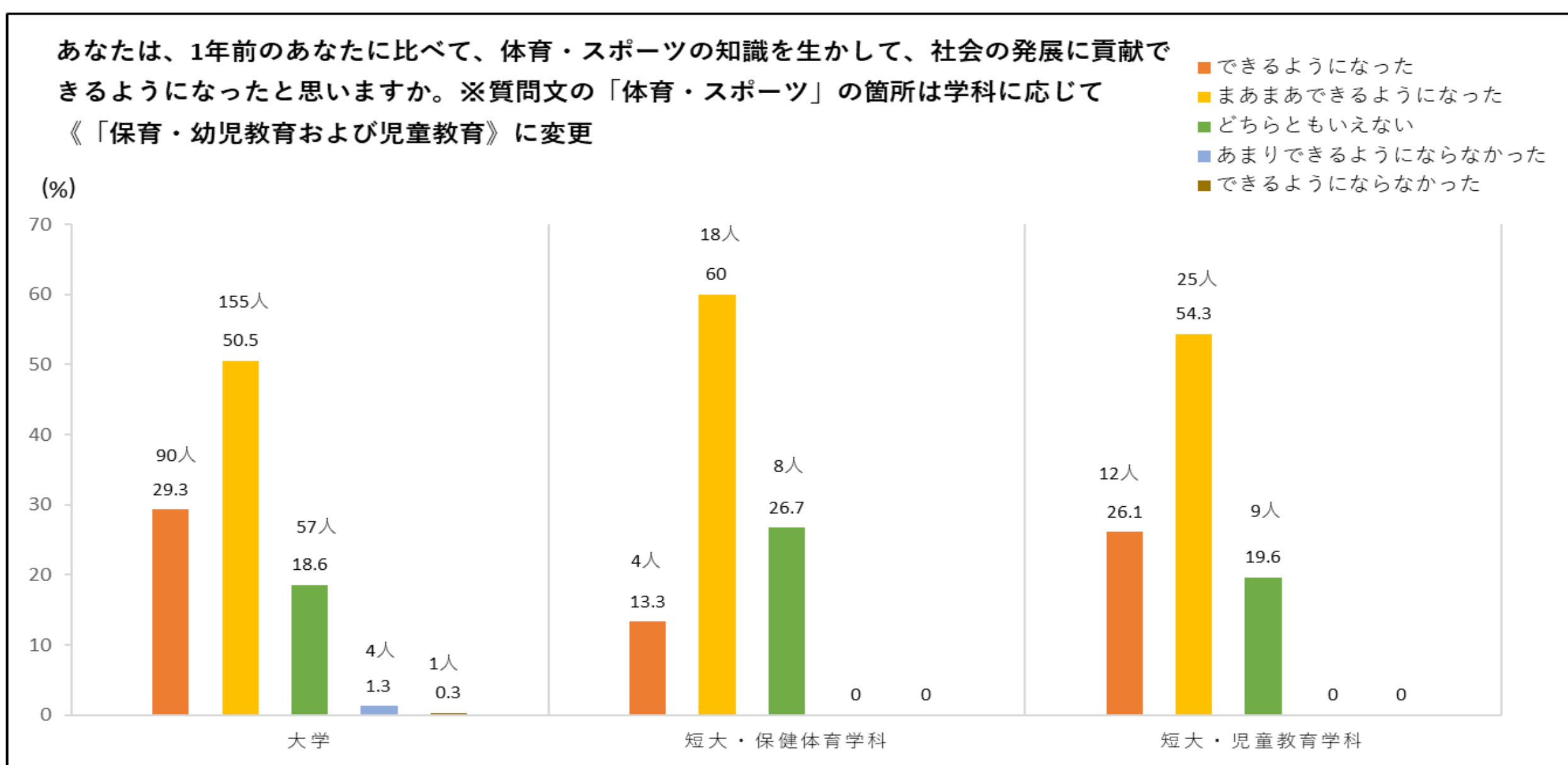
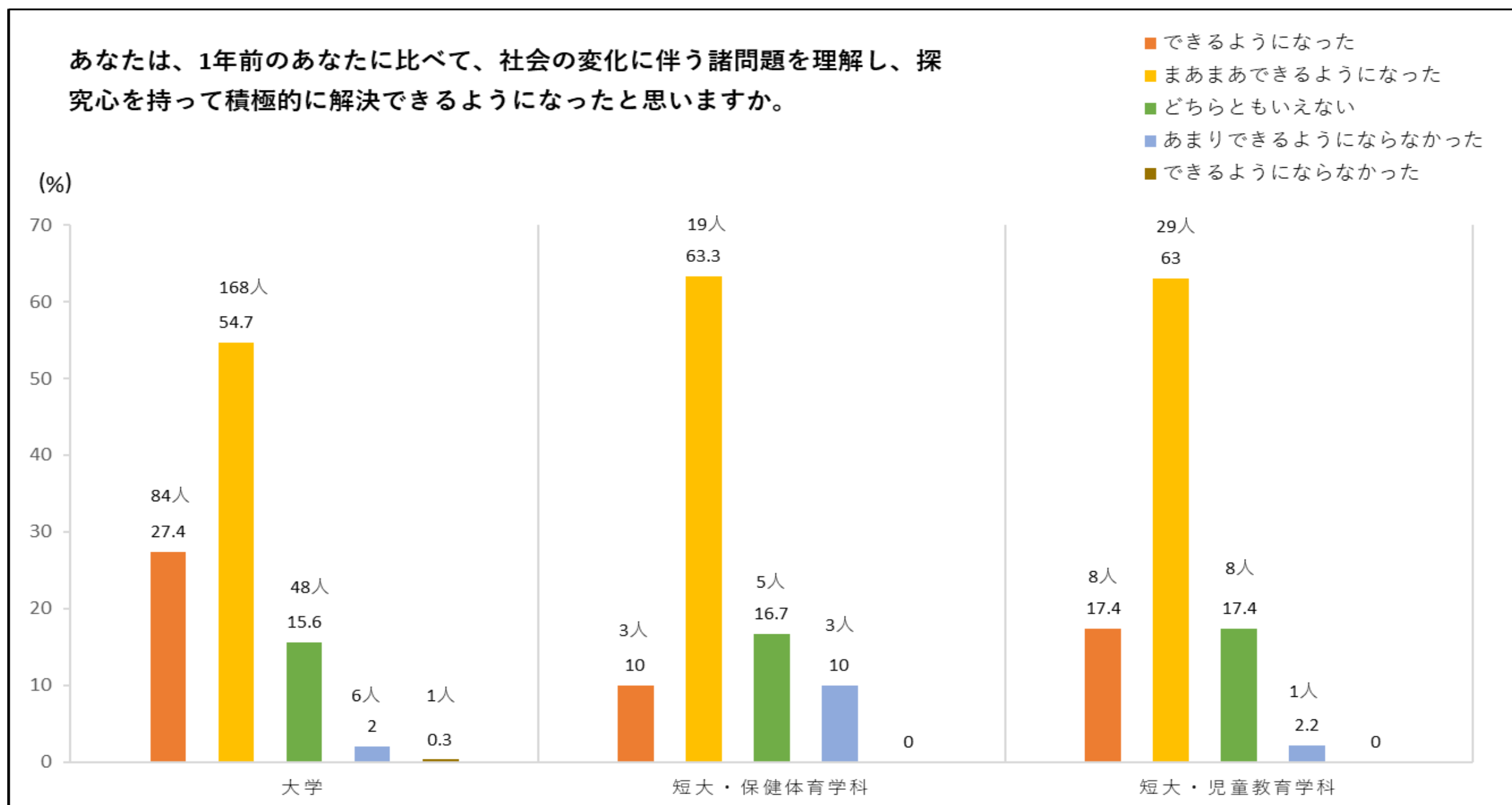
- できるようになった
- まあまあできるようになった
- どちらともいえない
- あまりできるようにならなかった
- できるようにならなかった



あなたは、1年前のあなたに比べて、多様な人々の意見を聴き、理解した上で自分の考えを表現し、的確に伝えることができるようになりましたか。

- できるようになった
- まあまあできるようになった
- どちらともいえない
- あまりできるようにならなかった
- できるようにならなかった





【実施結果②】

成長実感を問う質問については、一年前と比較し、できるようになったかを6つの項目に分けました。大学は「多様な人々の意見を聴き、理解した上で自分の考えを表現し、的確に伝えることができるようになりましたか」という問いが一番数値が高くなっていました。次に高かったのが、「教養」と「体育学」でした。次に、短期大学の児童教育学科は「動きづくり、音づくり、ものづくり」が一番高い結果となっています。保健体育学科は「保健体育」の内容を理解し実践できるようになったという回答が一番高いことが分かりました。

※本実施結果の振り返りは「できるようになった」、「まあまあできるようになった」の回答結果を合算した数値で比較しています。